

ドリム愛ランド ビレッジプレオープン

10月10日、神明地区で5月から準備が進められていた「ドリム愛ランドビレッジ」のプレオープンイベントが開催され、町内外から訪れた約150名が自然体験やステージショーを楽しみました。

ドリム愛ランドの三木代表は「普段の生活では叶わない事が叶う可能性と笑顔に溢れた未完成の夢の国を共に育てたい。」と話し今後の活動に意欲を見せました。ビレッジは、子育て世代の家族が楽しめる場所として、来春の本格オープンまで、体験イベントは随時開催されます。



町内保育所で 旬のサンマを味合う

10月8日に河北保育所、16日には上ノ国保育所で「さんまの日」と題した年に一度のイベントが行われ、児童は旬の味覚を味わいました。

町内の保育所では、季節の移り変わりや旬の食材を食べることを大事にしており、今回のイベントでは、園児一人ひとりが1本のさんまを自ら網の上ののせ、保育士が焼き上げたさんまを箸を上手に使って綺麗に食べました。上ノ国保育所年長組の川嶋泰知くんは「さんまは食べるのが難しい。苦いけど美味しかった。」と話していました。



森農場の豚肉 新商品開発目指す

9月20日、桂岡地区の有限会社森農場は自社で生産する豚肉の新商品化を目指し大留地区の焼肉れすとらん楽園と共同で考案した商品の試食会を開催しました。

この日用意した試作品は「塩麹とレモンハチミツ」など4種類の味付けをしたスライス肉で、今後はアンケート結果をもとに再考しふるさと納税の返礼品や道の駅での販売を見込んでいます。

森農場取締役の森祐介さんは「丁寧に育てた豚肉を町内の方に食べてほしい。地元から全国に拡がってくれば。」と話していました。



上ノ国消防署が 水難救助隊を組織

上ノ国消防署では、大洪水や海浜事故等へ対応するため、救助用ボートを整備し、檜山管内では初めてとなる水難救助隊を組織しました。

町内では、平成29年に天の川が氾濫し、今年には死亡事故を含む海浜事故が2件発生していることもあり、泳力に優れる6名を救助隊員に据え、ボート操縦のため3名が船舶免許を取得しました。上ノ国消防署小橋主幹は「要救助者を安全に救助するため、潜水技術や操船技術向上の訓練に励みます。」と話していました。

